

# Q&A 当社へ応募される方からよくいただく質問と回答を紹介します。

## どのような人材を求めていますか？

「葬祭業界で働きたい」という真剣な想いがあり、当社の基本理念である「まごころ葬儀」の実現に共感していただけることは必須条件です。そのうえで、物事を前向きに捉え、自発的・積極的に行動できる人材、チャレンジ精神や自己啓発の意識、成長目標を持っている人材などを求めています。

## 他社にはない強みはどこにありますか？

葬祭ビジネスの原点は「人」が「人」を支えることにあり、人材教育に注力し、「個々のお客様に応じた質の高い葬祭サービス」を提供しているところ。そのため自社の研修センターで基本的なマナーから葬祭の知識、技術をしっかりと習得でき、安心して仕事に取り組める研修体制を確立しています。毎年、階層別の研修なども実施し、公益社社員（葬祭のプロ）としてだけでなく、社会人としてどこでも通用する人材に育てます。

## 結婚や出産後も働き続けられますか？

もちろんです。育児休業取得者も増えつつあり、その多くのスタッフが復帰後も活躍しています。また、夫婦共働きの従業員には子供手当を支給\*するなど、会社として福利厚生からバックアップしています。（※支給条件あり）

## 福利厚生について教えてください。

上記の子供手当のほか、財形貯蓄制度、従業員持株会、自己啓発援助制度、福利厚生倶楽部（ベネフィットワン、リロ・クラブ）などを用意。将来を見据えての資産形成を考えている方や、成長意欲の高い方の要望にも対応できるよう、各種制度を整備しています。

## 応募にあたり、資格や知識が必要でしょうか？

エンバーマーを除き、資格は必要ありません。ただし、日常的に運転業務を行う職種にご応募の場合は、運転免許（AT可）が必要となります。

## 葬祭業界未経験ですが、応募は可能でしょうか？

もちろん可能です。中途採用の場合も、これまでの経験や職業観などから真剣に「葬祭業界で働きたい」という方であれば、問題ありません。

## 業種柄、勤務体系は不規則だと思いませんか？

### 休日の呼び出しなどはありますか？

シフト制で休日や夜勤当番を決定しますので（夜勤は一部職種のみ）、休日に電話で出勤を依頼することは基本的にありません。ただし業務が立て込んでしまったときは、事前に休日予定日に出勤を依頼することはあります。もし休日出勤となった場合は、後日、代休を取得していただき、所定の休日数は必ず休めるようにシフト調整しています。

## どのようなスタッフが多いですか？

明るくにぎやかなスタッフが多く在籍しています。お客様の前ではもちろん厳粛に仕事を行うので、「静かなスタッフばかりでは？」と思われるかもしれませんが、事務所内では和気あいあいと仲良く元気に働いています。20年以上、継続的に新卒採用も実施していますので、20代や30代のスタッフも多数。中途採用での入社でも新卒採用での入社でも、同年代のスタッフがいて、すぐに打ち解けていただけると思います。

## 応募方法

### ●お電話でのお問合せ・ご応募

人事部採用センター[燦ホールディングス(株)]

TEL:0120-314-023

受付時間 8:30~17:30(土・日・祝日を除く)

### ●WEBからのご応募

燦ホールディングス(株)の採用ページ

<https://www.san-hd.co.jp/recruit/guide.php>



東京本社 東京都港区南青山1-1-1 新青山ビル西館14F  
TEL:03-5786-9628(代表)

大阪本社 大阪府大阪市北区天神橋4-6-39  
TEL:06-6202-9628(代表)

<https://www.koekisha.co.jp>



# Recruiting Information

人と人の「想い」が創造する。まごころ葬儀を創造する。

採用案内



公益社  
KOEKISHA



# 最期のお別れを支える 「想い」の循環

最期のお別れの場所には、故人やご遺族、参列者など

たくさんの方々の「想い」があふれています。

それらを受け止め、支えていくのが公益社の仕事です。

心を通わせ、関わり合うことで生まれる「想い」の循環が、

私たちのめざす「まごころ葬儀の創造」に

つながっています。

## 社長メッセージ

お客様の意識や価値観の変化に伴い、お葬式のかたちや求められるサービスも実に多様化してきました。1932年の創業以来、常に葬祭業界を牽引してきた私たちに求められているのは、継続して守るべきものは守り、時代の変化に合わせて変えていくべきものは変えていく姿勢だと考えています。

そのなかで公益社が標榜しているのは、「まごころ葬儀の創造」です。お客様の心に寄り添い、ご葬儀を中心とした「尊厳あるお別れのお手伝い」をさせていただくことで、日本人の生きる基盤であり、古くから大切にされてきた、供養し慰霊する文化、家族の絆を大切に守っていくこと

が、私たちの使命でもあります。

私たちの事業は、働く社員をはじめとする「人」が財産であり、その「人」によってこそ成り立っているものです。これからも私たちは、守るべきものを守り、変えるべきものを変えながら、一人ひとりが主体的により良く生きることを実践し、「人」を通して、お客様、家族、地域社会に広く深く貢献する企業をめざします。



代表取締役社長  
播島 聡

## 公益社が培ってきた信頼の背景

### 1932年創業の歴史とともに続ける進化

昭和7年(1932年)に大阪・北浜の地で設立され、創業80年を超える公益社。歴史ある葬儀社は旧態依然とした印象をもたれがちですが、公益社はこれまでにさまざまな変革を行ってきました。葬祭サービスに対する社会の評価が厳しさを増すなか、専門性に加え、消費者視点での行き届いたサービスを提供できるよう、これからも進化を続けます。

### 葬祭業界で初めて東証1部上場企業に

公益社は2001年、葬祭業界で初めて東証・大証1部に株式上場を果たし、「透明性の高い経営姿勢」に対する外部評価を得るとともに、それを堅持することを公にしました。現在は持株会社制を敷き、燦ホールディングス(2022年4月より東証最上位のプライム市場)のグループ中核葬儀社として、ホスピタリティあふれるサービスを追求しています。

### グループの組織力で安心のサービスを提供

#### 燦ホールディングス株式会社(東証プライム)





# 「想い」をつなぎ、まごころを届ける

1932年創業、歴史とともに進化を続け、  
年間10,000件以上の葬儀をサポート。



## 年間10,000件を超える 葬儀をお手伝い

公益社は、長年の経験によって培われた独自のノウハウをもとに、時代に合わせて進化を続けてきました。これからは「まごころ葬儀」でお客様に寄り添うパートナーをめざします。

## 経験豊富な葬祭ディレクター が多数在籍

葬祭業界に必要な知識・技能のレベルを審査する厚生労働省認定「葬祭ディレクター技能審査制度」。受験資格として1級で5年以上、2級で2年以上の実務経験を要するこの試験に合格した、274名\*が在籍しています。(※2020年11月現在)



## ご遺族のサポートを行う 「ひだまりの会」を運営

社会貢献活動の一環として2003年に「ひだまりの会」を設立。

「グリーフ(悲嘆)サポート」「ライフサポート」「ボランティアサポート」と、葬儀後も段階的なご遺族のサポートを行っています。



葬儀社による  
日本初の本格的な  
ご遺族のサポート  
ひだまりの会参加者  
延べ1,000名以上

首都圏、および近畿圏で  
50会館以上を展開



## 公益社の職種紹介

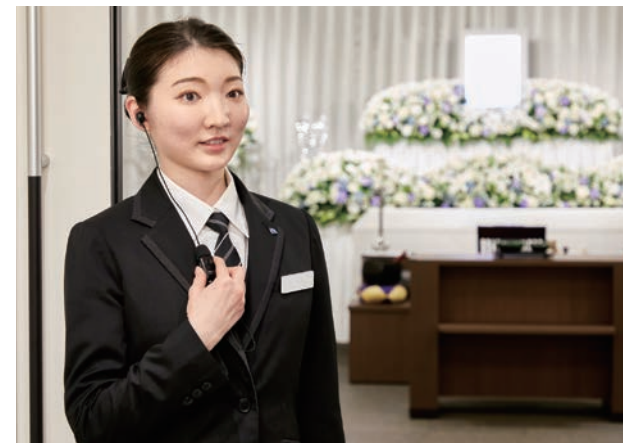
### 葬儀ディレクター

寝台車でのお迎えの搬送サポートや、ご遺族との打合せ、式場準備や祭壇設営、通夜・葬儀・告別式のディレクションやアフターサポートなど、他職種と連携しながら葬儀全体のお手伝いをします。専門知識や技術はもちろん、お客様の心情や立場を理解するまごころが重要。悲しみを和らげ、適切に支援するカウンセラーやコンサルタントとしての役割も担っています。



### セレモニースタッフ

ご遺族や参列者の方をお席へご案内し、焼香のタイミングのお知らせや供養品のお渡しを行うなど、セレモニー(通夜・葬儀・告別式)を滞りなく進行します。細やかな気配りや、全体を俯瞰的に見渡して対応する力などが求められる仕事です。式場や祭壇の準備や片付けも丁寧に実行。セレモニーの進行だけでなく、事務所内での作業、電話対応などの業務も行います。



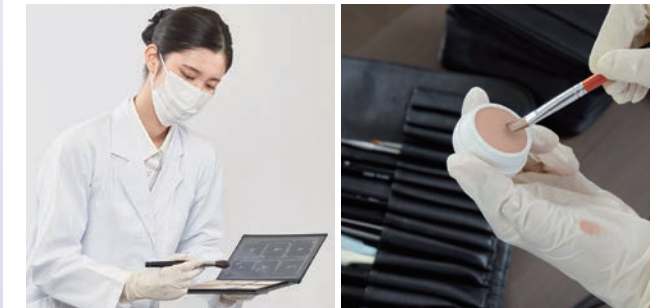
### ご葬儀相談センタースタッフ



葬儀のご依頼やご相談、会館までのアクセス案内など、葬儀に関して多岐にわたるお電話を受け、お客様を支援。状況を判断し、適切にご案内することが求められる繊細な仕事です。

### エンバーマー

故人にエンバーミングという技術を施し、生前のお姿に近づけることで、故人の尊厳を守る大切な仕事です。エンバーミングは、最期の対面やお別れの場において癒しを与え、生涯にわたり残る記憶、故人の印象を美しく自然なものとし、ご遺族や関係者をケアする付加価値の高いサービスです。エンバーマーになるには、ライセンスを取得する必要があります。



### フラワーコーディネーター



昨今、主流になってきている花祭壇を創作。生花の仕入れから葬儀式場での設営、アレンジを施したお供え用のお花や装飾まで、祭壇だけでなくお花に関わるすべてのことを担当します。

### 車両運転手



寝台車で病院などへ故人やご遺族をお迎えにあげ、ご自宅や葬儀会館へ。告別式後は霊柩車で式場から火葬場までお連れします。安全運転はもちろん、何よりもまごころが大切な業務です。

### 葬儀後の相談スタッフ



葬儀を終えられたご遺族の方に葬儀後の手続きや必要な仏事などのご案内、位牌や仏壇、香典返しなどの手配を行うことが主な業務です。ご遺族の心中を察し、親身にサポートします。

### サポートスタッフ



設営部門や、社葬など大規模な葬儀の際に活躍するデザイン部門、葬祭の道具などを管理・運搬する倉庫業務など、多種多様な役割を担いながら葬儀を支える、縁の下の力持ちです。



# 一人ひとりの「想い」



## VOICE OF SENIORS

### 先輩の声

公益社を選んだ理由や仕事をするうえで大切にしていること、仕事のやりがいなどを、スタッフに自身に語ってもらいました。

セレモニーサービス部  
葬祭ディレクター

とみた ちさと

**富田千智**

(2017年入社)



## 心からの「ありがとう」が次へつながるやりがいに。

葬祭業を志望したきっかけは、祖父の死です。20歳のときに初めて身内の葬儀を経験し、遺族の心のケアをしながら支えるこの仕事の大切さを痛感しました。なかでも公益社は、近畿圏だけでなく首都圏にも展開し、社葬なども多数施行している大手。福利厚生が整い、女性も働きやすいと感じたことが選んだ理由です。

実際、産休育休から復帰した先輩も多いですし、私自身も結婚の際に希望し、大阪から東京へ異動しました。時短勤務や職務変更なども可能で、ライフスタイルに合わせた働き方ができるのも魅力。心に余裕がなくなってしまうのは、良いサービスはできません。休日が十分に確保されているのも、この会社の大きなメリットです。

仕事では、ご連絡が入ると病院や施設などへお迎えに上がり、日程や葬儀内容を決め、ご葬儀当日は施行を担当します。ご遺族は悲しい気持ちを押し殺して打合せをせねばならず、気丈に振る舞われる方がほとんど。その些細な表情や仕草、雰囲気から、いかにお気持ちに寄り添ってご対応するかが大切です。よりよいお別れができるようにするためには、どうすればいいのか。ご葬儀当日も、何か気にかかることがあるとお別れに専念できないので、ご遺族の一步先を行けるよう、常にアンテナを張って行動しています。

人生の最期に関わる重要な仕事です。その分、大変ですが、お客様から「ありがとう」「富田さんで良かった」など感謝のお言葉をいただけたときは、ほかでは味わえないやりがいを感じます。自分が経験したことを、さらに後輩たちにも伝えていきたいです。

### 葬儀(告別式)の日のスケジュール

- 8:45 出社・各所連絡など
- 9:30 ご遺族と打合せ
- 10:30 宗教者到着
- 11:00 開式(司会進行など施行を担当)
- 12:00 出棺
- 12:30 火葬場到着
- 13:30 収骨
- 14:30 ご自宅へ祭壇など設置・今後の流れの説明
- 16:00 帰社・書類整理・請求書作成・引継ぎ
- 17:15 終了



### 人材育成のサポート体制 葬儀のスペシャリストを養成するため、教育体系の充実を図っています。



公益社では、「人」が最も重要な経営資源(資源・資産)であると位置づけています。イキイキと誇りをもって働く社員と、社員一人ひとりの力量、能力向上こそが、ブランド力の源であり、会社発展の原動力であると捉えているからです。

企業活動を通じて、「お客様の安心を保証」「お客様の信頼を獲得」「お客様の満足を創造」することが、当社の大切な存在理由。それらを実践するためにも、現状に満足することなく「サービスの質の向上」を追求・実現し続けられるスペシャリストを養成しようと、各種研修プログラムなど教育体系の充実を図っています。

### 公益社の研修制度

公益社では、業界に先駆けて新卒採用を始めた段階から、計画的かつ効果的な育成プログラムを導入してきました。現在は、業界でも珍しい教育研修部門を設け、早期育成とサービス品質向上を強化しています。まず入社1年目は、専属のメンター(指導員)をつけ、スキルだけでなくメンタル面もサポート。最短距離で高いレベルに達するよう、座学、実技演習、OJTを適切に織りまぜながら教育しています。座学では、長年にわたる葬儀スタッフ育成の過程でつくりあげてきた独自のテキストを使用。実技演習では、ベテランスタッフ指導のもと、高水準のノウハウを体得してもらいます。さらには一人前になってからも適宜、勉強会や実務試験を行うことで、誰が担当者となっても常に高い「公益社クオリティ」をお客様に提供できる仕組みを構築しています。

